

大型クラゲの出現状況

(平成 23 年 8 月下旬現在)

(独) 水産総合研究センター及び関係機関が行った調査によると、大型クラゲの出現量は、黄海及び東シナ海では出現量が少なかった平成 20 年度程度、対馬海峡では昨年同様非常に少ない状況です。

1 大型クラゲの出現状況

- ・ 日本－中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査により、8月20日～23日までの間、中国・青島沖の黄海中央海域で少数の大型クラゲを確認しました。
- ・ 8月17日及び20日～21日には、黄海及び東シナ海北部でごく少数の大型クラゲが目視されました。
- ・ 日本－韓国間を航行する国際フェリーの目視調査では、8月23日に今年初めて対馬海峡で大型クラゲを確認しました。

2 大型クラゲの出現予測について

- ・ 中国・黄海中央部の大型クラゲ群は、今後引き続き黄海内部に滞留し、日本周辺水域へ大量出現する可能性は低いと思われます。
- ・ 日本海に流入した大型クラゲは、大部分が沖合域に運ばれることから、沿岸域では能登半島以西において散発的に出現する程度で、大量出現する可能性は低いと思われます

資料：(独) 水産総合研究センターのホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県農林水産技術センター
水産振興センター

海洋資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004